

質問 酒向議員（無所属・関市・美濃市）令和7年10月2日（木）

2 長良川鉄道の地域における役割と持続可能な運行に向けた支援について

答弁 知事

長良川鉄道につきましては、先月、実は沿線の首長の皆様方が来庁されまして、意見交換を行ったところです。その際、社長であります関市長から、長良川鉄道は、地域住民の大切な移動の足ではあるが、人口減少に伴い利用者の増加が見込めない中で今後とも存続させていくには、経営改善の一環で、ダイヤ改正や運行区間の見直しを考えていかざるを得ない状況にある、と伺いました。

確かに通勤や通学をはじめとした地域内の利用者だけに目を向けますと、ただいま議員が数字で示されたように、この先の見通しは厳しいかもしれません。しかしながら、長良川鉄道が担っている役割は、地域住民の移動手段だけではありません。

鉄道は、県外とりわけ外国から来られる方々にとっては、時刻通りの運行が期待できるとともに、万が一乗り間違えた場合の対処も比較的容易であることから、旅行計画を立て易く安心して利用できる貴重な移動手段です。私自身、海外で初めて訪れた町でバスに乗るというのはあまりにもリスクが高いため、基本的にはやはり電車ということになっております。

従いまして、既に鉄道が敷設されていることは、沿線市町にとってまちづくりを考える上で非常に大きな強みだということ、これを生かさない手はないということを申し上げます。

特に地域外から人を呼び込むという点では、幸いこの鉄道の沿線地域には、ご指摘のとおり世界三大刃物産地の1つである関の刃物をはじめとしまして、数多くの優れた観光資源があります。しかも、郡上踊りや清流長良川の鮎など、世界遺産を4つも有しておりますので、各市町による鉄道を軸としたまちづくりに最適な環境が揃っていると言えます。

先日の意見交換では、私から沿線の首長の皆様に対しまして、例えば、沿線市町が相互に連携して、主要な駅周辺にその土地ならではの食や名産品を提供できる店舗を集めたり、年間を通じて休日に常にいずれかの駅周辺において鉄道を使ってもらえる地酒の試飲会のイベントを開催するといったアイデアを提案させていただきました。

また、広く利活用のアイデアを募集するため、これもまさに議員がご指摘いただきましたが、市町において市町版の政策オリンピック、こうした住民のアイデアを募集する取組を行ってはどうか、などと助言したところです。その際、首長の皆様からは、今後、知恵を絞って観光利用の拡大にも力を入れていきたい、という力強いご発言がありました。

何れにしましても、長良川鉄道沿線には優れた観光資源が数多くありますので、鉄道を軸としたまちづくりの絵姿をどう描くのか。沿線の首長の皆様から、具体的なストーリーとプロジェクトのアイデアについてお聞かせいただくことになっております。

長良川鉄道に対しましては、これまでも鉄道施設の維持修繕などの安全運転のためのハード整備のみならず、食品サンプル列車などの観光列車や土産品の開発などの利用促進のためのソフト対策も支援してまいりましたが、国の予算制度を効果的に活用するための助言なども含め、引き続き、取組を後押ししてまいりたいと考えております。

担 当 課 公共交通課

電話番号 058-272-8657

メー ル c11134@pref.gifu.lg.jp